

一般財団法人 愛知県バスケットボール協会

2018 年度 臨時評議員会 議事録

○日 時 2019 年 3 月 2 日 (土) 午後 7 : 00 ~

○会 場 ウィンクあいち 会議室 1103 【11F】

○出 席 <評議員>

鈴木浩昌 井上本高 円城寺賢治 橋口学 松岡英子 衛藤公彦 福井由紀 杉浦忍
馬場博之 米本博明 仙波喜美 加藤政章 青山英立 杉浦裕司 安藤悟 長坂和幸
近藤淳司 久保田竜弥

<理事>

加藤宣明会長 川本睦副会長 門川浩人専務理事 野村馨常務理事 梶岡直久 鈴木慶光
大橋健二 糟谷愛 金田武久 佐々木貴之

<監事>

伊藤隆

○欠 席 <評議員>

千葉洋一郎 桂山光弘 清野英二 岩田弘之 高橋誠一

<理事>

石塚康裕常務理事 出原竜彦 酒井康寿 宇田津浩史 山内俊幸 加藤昌樹 矢倉直親
坂野貴則 小栗弘 八木雅彦 松藤貴秋

<監事>

井上友幸

○司 会 事務局 古田美穂

臨時評議員会に先立ち午後 6 時 30 分よ、2018 年度愛知県バスケットボール協会強化奨励費と優秀選手表彰の授与を行った。

○ 強化奨励費授与

○ 愛知県協会優秀選手表彰

臨時評議員の出席者は 18 名、全評議員の定数 23 名の中の過半数以上の出席があり、一般財団法人愛知県バスケットボール協会 定款 第 18 条 第 2 項「評議員会は過半数の出席がなければ開催することができない。」の適用により、本日の臨時評議員会が成立。

☆ 会長挨拶

☆ 議長選出

愛知県協会 定款 第 5 章 第 20 条により、「評議員会の議長は、評議員会において出席した評議員の中から選出する。」とあり、臨時評議員会の議長に、久保田 竜弥評議員が推薦され務めた。

愛知県協会 基本規程 第 3 節 第 20 条により、「評議員会の議事については、定款で定めるところにより議事録を作成し、議長及び出席者の代表 2 名以上の記名押印のうえこれを保存する。」とあり、本日出席の中から社会人連盟の円城寺賢治評議員と、U-15 クラブの 仙波喜美評議員、久保田竜弥議長をお願いした。

《 報告事項 》

1 報告事項 1 2019 年度 事業計画について

2019 年度事業計画、事業方針について、例年通り JBS2016 ジャパンバスケットボールスタンダード 2016、JBA の策定に従い、Ⅰ 強く、Ⅱ 広く、Ⅲ 社会貢献の 3 つに分けて策定していく。

Ⅰ 強く

1 強化育成

①技術委員会の充実

②カテゴリー別の選手発掘と育成を図るため、アンダーユース部会の充実

③指導者を養成するため、指導者養成部会の充実

競技会委員会を充実させてく。

諸活動 来年度の茨城国体より選手の選抜の方法が変更となる。

D 級コーチライセンスの養成講習会の開催と平行し、A 級・B 級コーチライセンス受講者を JBA の講習会へ推薦。E 級については JBA による E ラーニング養成講習会の推進をしていく。
年代別 U12~U15 の指導者の育成の推進。

2 組織

①組織基盤の構築・強化

②市町村連盟・各種連盟の組織整備・連携強化

③B リーグとの協働事業の推進のため事務局強化

諸活動 事務局の再構築および財政の強化（補助金およびスポンサーの獲得）。

新規システム登録に関わる諸手続きの確認及び周知。来年度は新しいシステムで行う。登録チーム数を把握していく。

事業部の強化。組織を強くしていく。

専門委員会の強化。

裁定委員会・規律委員会の設置。独立した委員会を作る。専門委員会の強化

インテグリティ委員会の設置。パワハラなどの問題を考えて行くための設置。

傘下団体統括機能の強化（各市町村協会との連携の強化）。連絡協議会を年に 2 回開催し連携していく。

各種大会の再構築（各カテゴリーの大会リーグ戦化の推奨・促進）。U18 高校の部門でリーグ戦の推進。

ユースチームの保有促進協力ならびに参加可能な大会の実施推奨。B ユースチームに対し協会も協力し大会を開催していく。

3 事業

①事業部の強化

②人材の育成

③既存大会の再設計

諸活動 スポンサーの開拓、人材の育成・発掘・派遣。WJBL や天皇杯、国際大会などの大きな大会を運営して行く人材を育てる。

観客動員拡大。

各大会のリーグ戦化の推奨・促進。大会のリーグ戦化をして行く。

会員データベースを基盤とした WEB サービスおよび情報発信。JBA メール機能を利用し情報を発信。スポーツ教室の拡充。愛知協会が現在行っているスポーツ教室を拡充させていく。

物販の開拓。愛知県協会でも物販も考えていく。

II 広く

4 普及

①登録者拡大のための諸活動。

②審判・指導者の拡大及びレベル向上のための諸活動。

③広報関連事業の諸活動。

諸活動 登録制度の再整備。市町村の選手にも JBA へ登録して頂く事を進めて行く。

県内でのリーグ戦化の推進。

都市協会との連携（連絡網の構築、コーチ・審判資格・各講習会等の案内・リーグ戦及び全日本総合の予選への参加推進）。

バスケットフェスティバルの開催（底辺拡大に向けての活動）。

資格者(審判・コーチ)数の増加。愛知県はチーム数の割に審判・コーチの数が率的に少ない。

上級・初級審判の育成講習会の開催。若年から国際審判・B リーグ審判を目指す事ができる様に育成講習会を行う。

女性審判の養成講習会の開催。愛知県はチームのレベルが高い割に女性審判の数が少ないので強化して行く。

審判資格審査。インストラクター制度が出来たので審判資格審査を行う。

JBA 公認コーチ養成講習会の開催。コーチ養成講習会を開催する。

公認コーチのリフレッシュ講習会を開催。

インターネット等を活用し情報発信しお伝えしていく。

III 社会貢献

5 環境保全

①環境保全への寄与

諸活動 大会期間中の競技場周りの清掃等
ごみの分別
組織内のペーパーレス化推進。

2019年度ABA会議スケジュール予定

理事会は強化するという事で7回に増やす。各都市協会連絡会の9月と2月の2回開催。

2019年度 競技大会開催日程予定。

評議員より質問・ご意見なし。このような方針で2019年度を遂行とする。

2 報告事項2 2019年度 収支予算書について

2019年度予算案の報告。

経常収益¥98,900,000 円を予定。

経常費用¥98,900,000 円の予算。

評議員より質問・ご意見なし。このような方針で2019年度を遂行とする。

3 報告事項3 諸規定の改訂について

基本規程の一部改定

規律規程・裁定規程・論理規程・再審査手続規程・復権手続規程・委員会規程

目的として現行の基本規程の規律委員会・裁定委員会の事項、懲罰に対する事項を整備し、基本規程の改訂として独立させた倫理規程・裁定規程・規律規程を手続規程とし、再審査手続規程・復権手続規程を新たに制定する。

評議員より質問・ご意見なし。

議 事 録 署 名 人

2019年 月 日

円城寺 賢治 ⑧

仙波 喜美 ⑧

久保田 竜弥 ⑧